

◆ 採用広報の新潮流 ◆

インターンシップや会社説明会で ビジネスゲームを使う、事例紹介セミナー

日時／6月15日(木)・13:30～17:30 (開場13:00～)

会場／大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F

トヨタ自動車(株)、オムロン(株)、富士通エフ・アイ・ピー(株)、(株)ファミリーマート、オリックス銀行(株)など50社を超える事例の中から厳選してご紹介します。

また実際に採用やインターンシップで活用されているゲームをプレイ頂けます。

ゲーム体験がどんな効果をもたらすのかを皆様ご自身でお確かめください。

「伝達」を超えた「体験」へ

現在の会社説明会ではパワーポイントや映像、先輩社員の話などのコンテンツが主流です。企画を担当される方も、それらコンテンツを通じて「いかに仕事や会社の魅力を伝えるか」にお悩みのことと存じます。学生もこの“伝達された情報”を使って、自分自身がその仕事にやりがいを感じるかを問うたり、自分が業務に携わる姿を想像したりして志望意思を固めていきます。

こうした「伝達」を超えた効果を生むのが「体験」、すなわち本格的なビジネスシミュレーションゲームを使った業務の仮想体験です。ゲームを使えば経験を積んだ社員しか体験できないはずの「貴社の仕事の醍醐味」を体感してもらうことが、簡単にできるのです。

企業理解だけではない、ゲームの副次効果

伝達された情報よりも、自分の体験を通じての学びや気づきのほうが効果的です。その他にも、ビジネスゲームを使った体験には、様々な効果があります。

- ・ゲームプレイによって説明会が楽しくなる。参加者間の交流が飛躍的に増える
- ・一方的な情報伝達ではなく体験なので理解が深まり、また記憶に残りやすい
- ・業務に対する適性・興味の有無を比較的はっきりと感ずることが出来る (本人も会社も)
- ・わからないこと、聞きたいことが出てくる ・先輩トークが格段にリアルになる
- ・総じて好印象で場が終わるため、次のステップに進むのがスムーズになる
- ・一度導入すればよほど大きな業務変化がない限り毎年使えるため、結果的にコストが下がる

6月15日開催
13:30～17:30
(13:00～開場)

[体験会ご参加へのお申込み]

このままFAXで「06-6364-2240」までご返信ください

貴社名／	住所／
お名前(フリガナ)／	部署・お役職／
E-mail／	TEL／